

お 知 ら せ

平成13年11月14日
海洋科学技術センター

「国際海洋環境情報センター」開所式のご案内

海洋科学技術センター（理事長 平野拓也）は、中核的な海洋・地球環境情報の収集・発信拠点として、11月25日（日）から「国際海洋環境情報センター」の施設設備の一部運用を開始する事となりました。

本施設・設備は、海洋科学技術センターが名護市から「名護市国際海洋環境情報センター」*1の管理委託を受け、地球規模または国際的な規模で、海洋環境・地球環境情報の収集・発信を行う拠点となります（[資料1](#)）。

つきましては、下記により開所式を行いますので、ご案内致します。

記

1. 日 時 : 平成13年11月24日（土） 15:20～17:00
2. 場 所 : 「名護市国際海洋環境情報センター」
沖縄県名護市字豊原224-3
電話 0980-50-0120 FAX 0980-50-0123

なお、これに先立ちまして報道関係者の皆様には、次の日程で同センターの事前公開を行います。

1. 日 時 : 平成13年11月22日、午後3時から午後4時半
2. 場 所 : 同 上
3. 実施内容
 - (1) 同センター運用に伴う概要説明 30分
 - (2) 付属設備概要説明 30分
 - (3) 施設内見学 30分

*** 1 名護市国際海洋環境情報センタ の概要**

「名護市国際海洋環境情報センター」は、九州・沖縄サミットのアメニティーセンターの一部を利用したもので、サミット記念事業として位置付けられています。

本施設は隣接する名護市マルチメディア館（平成11年4月開所）とともに、名護市が推進する沖縄県北部地域での情報通信関連企業の誘致、雇用創出及びマルチメディア分野の人材育成の促進を目的として整備されました。

(本件に関する問い合わせ先)

海洋科学技術センター

普及・広報課 志村・野澤

電話：0468-67-9066

海洋情報室 他谷（たや）

電話：0980-50-0120





次へ

国際海洋環境情報センター (International Oceanographic Data Center)

海洋・地球環境情報の発信拠点：国際海洋環境情報センターとは
(Global Oceanographic Data Center: GOOAC)

海洋科学技術センターは、名護市国際海洋環境情報センターの発起委員を受け、国際海洋環境情報センター (GOOAC: コーダック) を運営しています。ここでは、国際的な海洋・地球環境等に関するデータの収集・加工・管理と、海洋科学技術センターが保有する深海探査や気候等のデータの活用により、研究者のみならず、地域の産業や教育現場、更に広域に観光産業等に関する海産・地球環境情報の発信の拠点を果たします。

また、地球環境情報として、沖縄県立自然史館を中心とした小中学校等の教育現場や、アジア太平洋地域の研究者の研修等に利用しているための調査船や気候観測システム等の各種設備の提供と教育用コンテンツ等のソフト整備も積極的に行なっています。

名護市国際海洋環境情報センターの概要
名護市国際海洋環境情報センターは、九州・沖縄サミットのメニテイセンターの一部を利したもので、サミット記念事業として位置づけられています。本施設は開館する名護市マルチメディア館 (平成11年4月開館) とともに、名護市が推進する沖縄県北部地域での情報通信関連産業の誘致、雇用創出及びマルチメディア分野の人材育成の促進を目的として整備されました。

地域にねざした活動拠点

- 人材活用・育成
- アジア太平洋地域の海洋環境情報発信の中心拠点
- 行政業務の集積基盤
- 青少年の地球科学に対する理解促進
- 観光産業等への活用
- 利用開放設備の公開
- 教育上の連携

国際海洋環境情報センター

利用開放機能

- 端末等の提供
- 教育用コンテンツの提供
- 地球環境に関する展示

地球情報提供Web機能

- 観測データ等の提供
- 地球情報ポータルサイト
- バーチャルアース

デジタルアーカイブ機能

- ストリーミング映像を保管
- 15000本の深海探査をMP3形式でアーカイブ
- 論文等の文書情報をデジタル化して保存

地球情報収集機能

- 観測データ収集
- 観測データ、気象観測データ

ネットワーク機能

- 名護市地域イントラネット
- JGN (JFN/ICN/NTT ネットワーク)
- インターネット

JAMSTEC 2007 Marine Science and Technology Center

次へ

名護市国際海洋環境情報センターの施設

デジタルアーカイブゾーン

作業室 マシン室
アーカイブ室

様々な観測データや海洋科学センター集約の各種映像のデジタルアーカイブを実施。

デジタルアーカイブゾーンで収録した観測データを利用し、様々な環境モニタリングの解析、高度・多様な観測に関する展示、調査物の実施。

利用開放ゾーン

開放ラウンジ 講義室

利用開放について

- ・ 地域小中学校等の課外研修
- ・ 地域住民、研究者への登録開放

施設機器について

- ・ 講義室
- ・ 端末器
- ・ 投影システム

名護市国際海洋環境情報センターの利用開放設備は一般の方がご利用になれます。ご利用の方法、手続きにつきましては、お問い合わせ下さい。

海洋科学技術センターとは (JAMSTEC Japan Marine Science and Technology Center)

海洋科学技術センターは、海洋に関する総合的試験研究を行う研究機関として、昭和46年（1971年）10月に設立された文部科学省所管の認可法人です。

当センターでは、深海研究部、海洋技術研究部、海洋観測研究部、海洋生態・環境研究部の4つの研究部と、極限環境生物フロンティア、固体地球統合フロンティア、地球フロンティアおよび地球観測フロンティアの4つのフロンティア研究が、様々な分野で研究・観測活動を行っています。また、これら研究をサポートするため、研究業務部や情報業務部などが船舶や潜水船の運航、データベースの開発等を行い、赤道域から北極域までの広大な海洋の観測や、地球深部構造の解析に挑戦しながら全球的な地球システムの解明に努めています。



海洋科学技術センターの主な活動拠点

本部

横浜研究所

むつ研究所

国際北極圏研究センター (IARC) ワシントン駐在員事務所

むつ研究所 シアトル駐在員事務所

東京連絡所 国際太平洋研究センター (IPRC)

横浜研究所 横須賀本部

国際海洋環境情報センター

本部

〒237-0061
神奈川県横浜市長谷町2番地15
TEL (0466) 66-3811 (代表)
FAX (0466) 67-9055

横浜研究所

〒236-0001
神奈川県横浜市金沢区船影3170番25
TEL (045) 778-5316 (情報業務部管理課)
FAX (045) 778-7351

むつ研究所

〒035-0022
青森県むつ市大字松崎字北船橋690番地
TEL (0175) 25-3611 (代表)
FAX (0175) 25-3029



国際海洋環境情報センター
海洋科学技術センター海洋情報室
URL : <http://www.jamstec.go.jp/>
E-mail : admin-godac@jamstec.go.jp

〒905-2172
沖縄県名護市宇屋原224番地の3
TEL (0980) 50-0111 (代表)
FAX (0980) 50-0123

